

再評価結果（平成17年度 事業継続 箇所）

担当課：都市整備課

担当課長名：北村 敏郎

事業名	南鳩ヶ谷駅東口駅前通り線整備事業		事業区分	街路	事業主体	鳩ヶ谷市
起終点	起点 埼玉県鳩ヶ谷市南4丁目1番10号 終点 埼玉県鳩ヶ谷市南4丁目1番6号		延長	0.03km		
事業概要	本地区周辺の骨格道路は、国道122号と戸田草加線の2路線が幹線道路として整備されており、平成13年3月に南鳩ヶ谷駅が開設されたことにより、駅へのアクセス道路の確保と駅前に集中する交通を円滑に処理するため、市南地区の中心拠点地区の主要施設として整備を図る。					
H8年度事業化	H6年度都市計画決定 (H 年度変更)		H9年度用地着手		H 年度工事着手	
全体事業費	26億円		事業進捗率	81%	供用済延長	0km
計画交通量	2,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.4  (残事業) 6.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 4.71/23.01 億円 事業費：4.7/23 億円 維持管理費：0.01/0.01 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 31.74/31.74億円 走行時間短縮便益：31/31 億円 走行費用減少便益：0.73/0.73億円 交通事故減少便益：0.01/0.01億円	基準年 平成18年		
感度分析の結果	-----					
事業の効果等	鳩ヶ谷市南部及び川口市朝日地区等の地域づくりの核を形成し、交通の円滑化による時間短縮・走行経費軽減効果及び、路線バスの乗り入れによる駅利用者の時間短縮効果が得られる。					
関係する地方公共団体等の意見	特にありません。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成13年3月の埼玉高速鉄道線の開通により、南鳩ヶ谷駅での乗車人員は開業以降年々10%近くの増加率を示しており、今後も更に増加していくものと考えられる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成16年度末時点での進捗状況は用地が83%、工事が0%である。平成18年度に駅前通り線全線及び駅前広場の約64%を施工予定で、以後、残りの用地買収・工事を進めていく予定である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	買収予定地に農地があり、地権者は近隣に代替地を希望しているが、用地の確保に難航している。今後、更に話し合いを進めて、買収を行う。					
施設の構造や工法の変更等	変更はありません。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	駅前広場を交通拠点として地域づくりの核の形成し、周辺道路の混雑緩和を図るだけでなく、駅前周辺の自動車と歩行者の交通錯綜を排除し安全性を高める効果を期待できる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。